

## 23 Lesson 6 (2)

### 絵や写真について詳しく尋ねよう

英語監修・出演 阿野 幸一

**きょうの目標** 絵や写真について尋ねたり説明したりすることができる

- 受け身の疑問文
- 受け身の否定文

**文法・表現** 受け身の疑問文・否定文

#### 受け身の疑問文

次の文を見てみましょう。

This plate was made in Germany.

(この皿はドイツで作られました → この皿はドイツ製です)

これは、目の前にある皿を見ながら「ドイツ製」であることを伝える受け身の文です。もし、目の前にある皿がドイツ製であるかを尋ねる場合には、次のように **be** 動詞を文のはじめに置き、最後に **?** をつけて疑問文にします。

Was this plate made in Germany?

(この皿はドイツで作られたのですか? → この皿はドイツ製ですか?)

答え方は次のようになります。

- Yes, it was.

(はい、そうです)

- No, it was not. / No, it wasn't.

(いいえ、違います)

そして、目の前にある皿がどこで作られたものか、あるいはいつ作られたものかを尋ねるときには、疑問詞の **where** や **when** を用いて、次のように尋ねます。

Where was this plate made? (この皿はどこで作られたのですか?)

- It was made in Germany. (ドイツで作られました)

When was this plate made? (この皿はいつ作られたのですか?)

- It was made in 2010. (2010年に作られました)



## 受け身の否定文

受け身の否定文は、be 動詞の直後に **not** を入れ、〈be 動詞 + not + 過去分詞〉の形になります。次の文で確認しましょう。

**This plate was not made in Germany.**

(この皿はドイツで作られたものではありません → この皿はドイツ製ではありません)

**Japanese is not spoken in our English classes.**

(私たちの英語の授業では、日本語は話されません)

### あの先生のこの話!



#### 「絵を描く」を英語にすると

「絵を描く」を英語で表すときには、どのように描くかによって「描く」に相当する単語を使い分けられます。次の2つの表現を比べてみましょう。

**paint a picture**

**draw a picture**

どちらも「絵を描く」という意味で、日本語では同じになります。しかし、英語では絵の描き方によって動詞が変わり、出来上がった絵を見てもその違いが明確にわかります。つまり、**paint** は絵の具を使って絵を描いたり、色を塗ったりする場合に使います。それに対して、**draw** は色は塗らずにペンや鉛筆を使って線だけで絵を描くときに使います。

「マンガを描く」と言うときにも **draw** を使って、**draw cartoons** と表現します。マンガは通常、線画で描くことが多いからです。

これに対して、「文字を書く」というときには、**write** を使って **write a letter** (手紙を書く) のように表現します。

英語の単語の意味を、日本語との一対一対応で覚えているとこのような正しい使い分けができなくなるので、一緒に使う単語や、その単語が使われている場面などを考えて、文の中で意味と使い方を覚えるようにしましょう。